

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 白石市立大鷹沢小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫
 中学校 中高一貫 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 ()
所在地 〒989-0213
宮城県白石市大鷹沢三沢字五丁目24-1
E-mail info@ootakasawa-e.shiroishi-c.ed.jp
Website http://sc.machikomi.jp/otaka041/
児童生徒数 男子 45 名 女子 44 名 合計 89 名
児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、学校経営方針として、「郷土白石市の素晴らしさを知り、郷土を愛し、絵が大触れる希望の街を創造する人材の育成」を掲げ、伝統文化を大切にしながらも、グローバル社会を生き抜く児童を育て琉琴を目標にしている。

主な教育活動に、地域に根ざす教材「団七踊り」を継承すること、また、6年生を中心とした、「届け！服のカプロジェクト」に参加し国際貢献を果たそうとすること、この2点の活動を中心にESDの活動を展開している。

ここでは、団七踊りの継承を通じて行った教育活動について述べる。「団七踊りのルーツを調べる」(3年生)、「地域の人に学ぶ」(4年生)、「団七踊りを踊り継承する」(4・5年生)、「団七踊りを発表する」(6年生)を柱に、①係わる活動、②係わる教育、③係わる学習、④係わる学習を行った。

①発達段階を踏んだ団七踊りの継承活動

【白石噺に関する調べ学習】(3年生)

白石、そして、大鷹沢地区に伝承され、歌舞伎にも演じられている「白石噺」について、ルーツや伝承の概要について、地区民に聞き取りをしたり、実地体験(千枚田に出かけての田植えや稲刈り)を通して、調べたことをまとめていく学習を行っている。

【6年生からの伝承】(4年生)

3年生での学習を通して、団七踊りへの興味を持たせ、4年生での踊りの継承活動へつなげていく。4年生では、5・6年生等が行う団七踊りの発表を見ることを通じて、継承への意欲付けの高揚を図る。また、発表の際訪れる地区民について知ること、地区の一員としての意識付けも行う。

【踊りの技術向上】(5年生)

5年生では、6年生と踊る活動を通じて、6年生をまねることや6年生から教わることにより、4年生時よりも踊りが上達するようにしていく。

【白石噺に関する習熟】（6年生）

6年生では、踊りの完成を目指すこともさることながら、3年生からの学習を通して温めてきた踊りにつながった「白石噺」について、説明したり、まとめたり、発表することを通して、男子千鳥を等号的に理解する活動を行う。また、科学年にそれを見せることで、踊りの伝承や話の継承が今後も持続していけるように指揮しながら最後は「団七踊り引き継ぎ式」を行うことで役割を果たすようにしていく。

②地域連携を意識した教育

今年度は、白石市にある「民謡民舞保存会」の協力を得ながら、発表等での「生歌」による演奏を実現させた。

保存会の方が、子どもたちの踊りの発表において実際に楽器を演奏し歌うことは、子ども達全体で驚きと喜びをもって演じることができた。

また、引き継ぎ式にもおいでいただき、講評をいただくことで、下学年は踊りを大切にしていこうとする気持ちがさらに高まる効果があった。

（2）活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- 団七踊り伴奏 CD
-

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本活動は、全て「総合的な学習」に位置付けて行っている。よって、学習は3年生から始まり、6年生まで継続して行うものである。

先にも述べた通り、3年生では「調べる学習」、4年生では「意欲付けを図る学習」、5年生では「地域を意識した学習」、6年生では「学習の統合」をそれぞれ意識して活動を行っている。

指導内容については、各学年で児童の実態を踏まえ、時数の確保、学習計画の立案に当たっている。また、踊りの指導についても、教員が事前に踊ってみたり、複数の児童（6年生）に踊らせて、リーダーを決めてグルーピングによる踊りの練習を進めたりして、活動が途切れないように工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

団七踊りの1年の流れをファイリングして保存している。

また、前6年生の学年担任が、次の6年生の学年担任をサポートするようにし、継承がスムーズに行われるよう工夫している。

音源については、ファイルにCDを挟み込み、ともに引き継ぐことにしている。今後は、ビデオによる踊りの保存も検討している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

踊りについては、「引き継ぎ式」において保存会の方、および伝承もとなっていてお寺の住職の方から評価をいただき、訂正すべきところは修正している。

ただ、これらの方たちも高齢となり、今後どのくらい続けていけるのかわ不安になってきていることも事実である。相談しながら検討していることろである。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

拠点としての意識はしていない。本校の持続発展可能な教育活動として今後も継続していきたい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

とくにはない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

とくにはない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

とくにはない。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

本活動は、児童の人数が減少していく中でも、本校の伝統・地域の伝統として引き継いでいるものなので、持続・継続させていくものである。
よって、これまで記述してきたことを次年度も継続していくものである。